

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-02-03-04
事務事業名	人材養成講座事業	根拠法令・要綱等	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律
事業開始年度	平成15年度～	担当課(室)	生涯学習課
大項目	基本目標	職・氏名	生涯学習係長 福山哲明
中項目	基本施策	電話	0869-64-1841
小項目	施策		
総合計画	地域文化と人が輝くまちづくり		
	生きがいのあるまちづくり		
	企業・地域との連携		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地域で実施する生涯学習を通して、団体やグループ活動の指導者になっていただく市民。
目的(何のために)	テーマを定めて、市における生涯学習推進の指導者を養成する。
行政活動(どのような方法で)	地域あるいは各種団体や企業と連携して講師を招き、職員による啓発を織り交ぜながら講座を開催する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	学習・文化・スポーツなど多種多様なフェスティバルのテーマにふさわしく、県下有数の「官民協働」の大会と言われるよう、ボランティアリーダーの養成を目指す。また講座への参加者数の増加も図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	講座受講人数	人		21	90	98
	直接事業費	千円		77	53	25
	人件費			740	1,770	250
	事業費計			817	1,823	275
	国県支出金					
	受益者負担					
	市一般財源	千円		817	1,823	275
	必要人員	人		0.10	0.20	0.03
	結果指標名	単位		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
講座受講人数	説明		人材養成講座受講人数			
結果指標量	人		21	90	98	
対前年比	%		-	428.6%	108.9%	
活動コスト	円		817,000	1,823,000	275,000	
単位当たりコスト	円		38,905	20,256	2,806	
結果指標						
結果指標量	人					
対前年比	%					
活動コスト	円					
単位当たりコスト	円					

事業の成果			
成果指標名	講座受講人数	式又は説明	フェスティバル開催を機に、話題性の有る研修へ1人でも多く参加していただく。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	21	90	98
対前年比		428.57%	108.89%
到達目標値	100	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		18年度より「全国生涯学習フェスティバル」ボランティア研修として、県内で最初に市主催事業のボランティアを公募し、県下有数の100名の応募者を得た。研修も概ね好評で、50～60名の参加者で熱気があふれていた。参加者のニーズにもある程度応えられたと思う。
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A-E>	B
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		「生涯学習の啓発は身近で大众的なテーマから」を念頭に、花いっぱい運動、バルーンアート講習、接遇研修など、職員の人脈をフルに生かした、低コストで内容のある講座が出来たと思われる。また、生涯学習フェスタ大会準備と同時進行で講座を行ったため、人件費コストも大幅に減少した。
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		研修参加者が生涯学習フェスティバルのボランティアで学んだ内容をいかに発揮していただけるかは、今後の地域での活動内容による。大会の啓発には実に有効な手段となり、特に11月4日の「ふれあいマラソン・ウォーキング大会」は多くの大会参加者で賑わった。
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	19年度目標はほぼ達成したため20年度は休止する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input checked="" type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 100	結果指標量	
成果指標量	100		
総合評価			
平成19年度「全国生涯学習フェスティバル」開催に向けてのボランティア研修を受けられた多くの方が、市内の団体やグループの学習活動の指導者になっていただくのが目標であり、大会終了後も引き続き生涯学習の啓発を図る必要がある。20年度は休止(予算措置なし)するが、他の事業でグループ養成を図る。	評価区分<A-E>	B	

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	20年度は休止、21年度より国民文化祭に向けて再開予定	21年度	20年度は自主団体活動を行っていただき、国民文化祭前年度に再び参加者を募る